

ナイスケアだより

第149号

令和6年10月発行

2024年に入り訪問介護事業所中心に会社を譲渡することや事業所を閉鎖することが増えています。これは介護保険の介護報酬改定で訪問介護の点数の引き下げや介護人材不足、高齢化などの原因が考えられます。さらに物価高も重なり、家賃、水道光熱費、職員の健康診断、通信費、備蓄品など諸経費にかかる費用も高騰し事業所の経営をさらに厳しくしています。消耗品、光熱費の節約を事業所で行いますが、厳しい暑さが続くとうちでも必要経費は重なります。

厚生労働省はこのような問題に対し処遇改善加算のアップを示していますが、介護報酬を引き下げたは介護人材不足の解消にはなりません。東京都に関しては、介護業界からの人材流出に歯止めがかかるように、小池知事が今年初めに居住支援特別手当事業を打ち出しました。国の見直しが講じられるまで、都が独自で手当を支給するもので、直接介護職員に月額1万円(勤続5年目までは1万円を加算)支給されることとなりました。9月末に振り込まれたので10月には介護職員に支給を予定しております。臨時の手当てとなり職員は喜んでます。

さまざまな課題はありますが介護は高齢社会に置いてライフラインとなり、なくてはならない仕事です。介護事業所として、よりよい人材を確保・育成するために創意工夫しサービスが切れ目なく提供できるように努めてまいります。



有限会社ナイスケア 代表取締役 塩川 隆史

～〇〇の秋～

日毎に秋も深まり、さわやかな季節となりました。好きな季節は各々違いますが、皆様はどの季節がお好きでしょうか？私は四季の中では秋が一番好きです。秋は「食欲の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」「芸術の秋」など『〇〇の秋』といった表現をいろいろと耳にします。他の季節である、春、夏、冬ではこういった表現をしないのは何故だろうと不思議に思い調べてみました。それぞれ由来はあるそうですが、秋だけである理由は、気候が穏やかで過ごしやすい季節だからだそうです。『天高く馬肥ゆる秋』ということわざもあるように、秋は空が澄み渡って高く見え、馬も食欲が増して肥えるような収穫の季節という意味で、秋の素晴らしさを表現しています。1964年に開催された東京オリンピックも10月の開催でしたね。スポーツの秋は東京オリンピックが由来だそうです。ちなみに、気温は22℃前後が集中力・生産性の上がる気温で、パフォーマンスが向上するという研究結果もあるそうです。春休み、夏休み、冬休みがあるのに「秋休み」だけがない理由も、秋の過ごしやすさが理由だそうです。

秋は、スポーツや勉強、遊びなどに打ち込みやすい季節、食べ物も美味しい季節です。寒暖差もあるので、体調に気を付けながら楽しく過ごしましょう。

倉持 美幸

ホームページ <https://niececare.tokyo/>

niececare.tokyo

検索